

第52回日本毒性学会学術年会
共催ランチョンセミナー (L3-4)

MOLECULAR
DEVICES

MIMETAS

人を模す、毒性を見抜く

ヒト生体模倣モデル

× AI画像解析が拓く新時代

Mimicking Humans, Decoding Toxicity:
Advancing Toxicology with
Human-Relevant Models and AI Imaging

開催日時

2025年7月4日(金) 12:15 ~ 13:15

会場：第4会場

(沖縄コンベンションセンター【会議棟B】B1)

座長

中沢 太郎

(モレキュラーデバイスジャパン株式会社)



演者

江尻 洋子

(Mimetas Japan 株式会社)



宇田川 紘司

(モレキュラーデバイスジャパン株式会社)



講演要旨

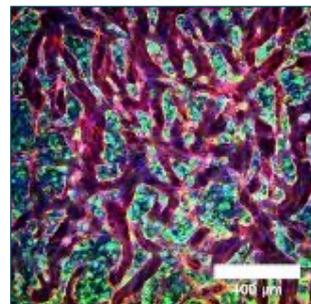
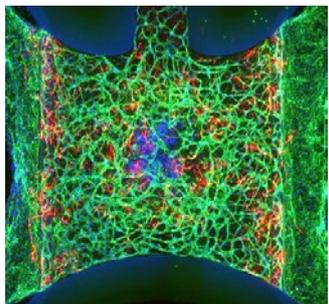
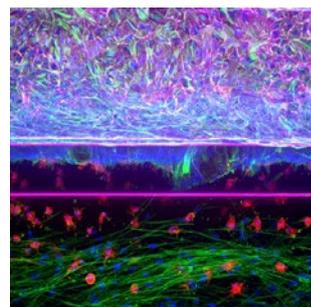
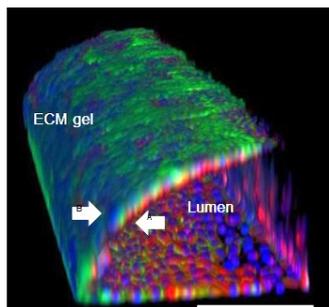
近年、毒性評価に用いられるモデルはより複雑性の高いものが求められており、そのようなモデルを自動的かつ均一に調製するような技術もまた求められています。モレキュラーデバイス社は、AI画像解析を活用した画期的なオルガノイド自動培養システムとハイコンテンツイメージングシステムを併用し、ヒトの生理を模倣したモデルのハイスループットな3D毒性スクリーニングに取り組んでいます。MIMETAS社のOrganoPlate®システムは、シンプルな構造ながら高度な生体機能を再現できるMPS技術として、毒性評価の革新に貢献しています。本セミナーでは、両社のシステムの応用例と可能性についてご紹介します。

第 52 回日本毒性学会学術年会 併設展示会出展のご案内

ブース小間番号 54

MIMETAS

- 従来の in vitro モデルに限界を感じていませんか？
新しい選択肢、ここにあります。
- 実績多数。世界の製薬企業が選んだ技術を体験！
グローバルで採用される理由を、直接ご覧ください。
- 最先端の MPS 培養組織モデルの利用事例を紹介
Organ-on-a-Chip 技術によるリアルなヒト正常・疾患を
使った毒性試験事例をご覧ください。
- ご相談ください、あなただけのカスタムモデル。
確立された培養モデルからカスタマイズまで、
幅広くご提案します。



ブース小間番号 55

MOLECULAR DEVICES

このような課題をお持ちの方は、
ぜひお立ち寄りください。

- iPS 細胞や 3D オルガノイドの培養自動化に関心のある方
- 自動化技術を用いた再現性の向上に取り組んでいる方
- 3D モデルのイメージングアッセイでスループットを改善したい方
- ハイコンテンツスクリーニングにおいてセグメンテーションに
課題を感じている方



お問い合わせ

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

Phone: 0120-993-656

Web: www.moleculardevices.co.jp

Email: info.japan@moldev.com

ミメタスジャパン株式会社

Phone: 03-4400-5934

Web: www.mimetas.com/ja/home/

Email: info-jp@mimetas.com